

com-CAFE 三八屋に至るまで

コムカフェ三八屋（サンパチャ）は、NPO法人志民連いちのみやの様々な活動を踏まえ、色々なネットワークを礎に、平成22年8月31日にオープンしました。志民連いちのみやは、ここを基点として、少しずつ色々なパワーを培い、さらなる展開を図ってまいります。

これからも未永く com-cafe 三八屋、志民連いちのみやをご支援、ご指導ください。

特定非営利活動法人志民連いちのみや 理事長 星野博



かつて「三八屋」は、この建物の厨房部分にあたる4坪のスペースで、平成13年3月8日より平成21年12月23日まで、個人経営で運営されてきました。

地域活性化と文化醸成を目指したこの「三八屋」の志を引き継ぎ、さらにカフェやパブなどを加え、様々な要素が詰まった集合コミュニティスポットとして「com-cafe 三八屋」を志民連いちのみやが本日から再スタートさせます。

特定非営利活動法人志民連いちのみやは平成10年から活動を開始し、17年に法人化されました。

一宮市に軸足を置き、地域のアイデンティティと市民自主性の醸成のため様々なまちづくり活動をしています。

今まで「杜の宮市」「ラブたな」「アートドッグズ138」など市民イベントの企画運営や支援をおこない、山村交流や市民講座を実施するほか、コミュニティビジネス・NPO・起業などの中間支援をおこなってきました。

こうした活動の拠点として、また世代を越えたコミュニケーション空間として「com-cafe 三八屋」を展開してまいります。

6つの顔の com-cafe 三八屋

com-cafe 三八屋は6つの要素が詰まった集合コミュニティスポットです。

カフェ三八屋

朝から夜まで、老若男女誰もが交流できる コミュニティカフェです。志民連いちのみやが開発した「138ブレンドいちのみや珈琲」などを提供します。



パブ三八屋

平成23年春復活の一宮地ビールほか、この地域ならではのオリジナルなフードやドリンクがあるパブにして、立ち飲み屋でもあります。

シェアスペース三八屋

会議や打ち合わせ、教室や発表会など、グループで活用できる日替わりシェアスペースです。ロフト部分にあり、かつて三八屋で使われていた大テーブルを設置しました。

一宮ブルワリー

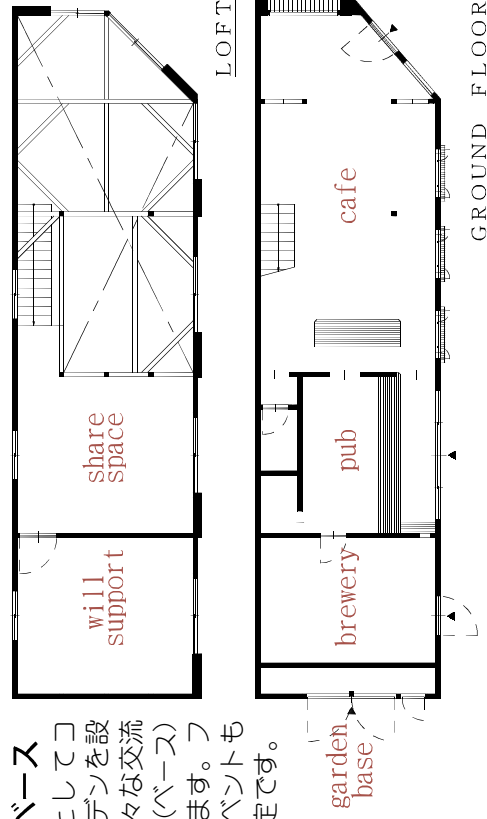
完成度が高かった「尾張ブルワリー」の味を支えた地ビール職人を迎え、極小規模ビール工房「一宮ブルワリー」で、この地ならではのビールを製造します。

ウィルサポート138

地域・中心市街地活性化のプロジェクトを運営し、色々な活動や起業、コミュニティビジネス、山村交流などを中間支援する拠点となります。「日本町活性化プロジェクト」や「138プロジェクト」なども企画運営し、市民や市民活動を支援します。

38ガーデンベース

都市緑化施設としてコミュニティガーデンを設置し、同時に様々な交流を図るべく基地（ベース）を屋外に整備します。フリマ等のイベントも開催していく予定です。



上/旧三八屋のにぎわい
中/真清田神社境内での杜の宮市
下/一宮駅前のアートドッグズ138

